



県産粗飼料の安定供給で耕畜連携を支える

株式会社ロールサービスびほく（吉備中央町納地425番地5）

TEL：090-3179-2575



経営概要

取材年月日：令和7年10月8日

経営規模

集積面積 約50ha（WCS用稲（稲発酵粗飼料）、稲わら、麦わら、牧草）

主な業務

耕種農家が生産したWCS用稲等のロール成型とラッピングの作業。

労働力

代表取締役 歳原 淳一 アルバイト3名

取組の経緯

◆吉備中央町内には、専用収穫機を所有し粗飼料生産を請け負う事業者が不在。自ら畜産農家として、海外産稲わらの高騰で国産飼料への切替を検討。安い粗飼料の供給とともに耕種農家の作業効率化も図れることから、畜産農家と耕種農家をつなぐコントラクターとして、2016年に（株）ロールサービスびほくを設立。



取組内容

WCSの収集

◆裁断型ロールベアラーやラッピング機を順次導入し、町内外の耕種農家と契約し、WCS用稲（約10ha）を水分量が少なくなる登熟後期に刈り取り。乳酸菌を添加し発酵を促すが、総じてWCS用稲の水分量が抑えられ嗜好性の高い飼料ができる。また、ほ場がよく乾いているため、土砂混入による機械への負担が少ない。

稲わらの収集

◆県内畜産農家からの供給要望が多い稲わらを県内の耕種農家と契約し、約12haのほ場から収集。中国産など輸入稲わらの依存度が非常に高い畜産農家にとって、以前の倍以上の価格上昇が経営に影響を与えたため、岡山県内で国産稲わらへの転換を望む畜産農家が増加。

耕畜連携の取組

◆（株）ロールサービスびほくで製造したWCS用稲を活用する畜産農家と、WCS生産ほ場に堆肥を還元する畜産農家による耕畜連携の取組が行われている。



専用収穫機による刈取作業



ロールのラッピング前後



前年産のWCSを荷捌きし、牛へ給与

今後の展望

- ◆これまでの経験を含め、良質な飼料を生産するため、耕種農家への稲刈技術等の指導を積極的に行う。
- ◆今後もWCSや稲わらなどの国産粗飼料の需要は増える見込みの中、SNSを活用した事業の情報発信や耕種農家と畜産農家の耕畜連携（需給マッチング等）に力を入れていく予定。
- ◆持続可能な農畜産業が展開できるよう、継続的に畜産農家と耕種農家を下支えしていきたい。